



# アカンサス

【校是：責任 友愛 努力】

令和 元年（2019年）  
9 月 号  
発行  
能美市立辰口中学校  
波佐尾 雅美



## めざす学校・生徒像

た 楽しい学校  
つ つながり合い高め合う生徒  
の 伸びゆく能美市を支える生徒  
く くじげずやり抜く生徒  
ち 力いっぱい生きる生徒

## 裏面運動会関係

### \*\*\*2学期始業式の話より\*\*\*

◆交通事故や重い熱中症もなく、元気に2学期を迎えることができました。夏休み中、辰中生についてうれしく思ったことを、3つだけ紹介します。1つめは、やはり「あいさつ」です。部活動に来る人たちがよく自分からの挨拶をしてくれました。2つ目は、先日、生徒会執行部が能美市議や他校執行部と交流したのですが、学校紹介や議員への質問などしっかりと考え取り組んでくれ、「辰中生、頑張ってるね」と褒められました。3つ目、皆さんにバックネットに付ける看板についてアンケートをとりましたが、それぞれが一生懸命考えてくれたことが分かりました。結果は「辰中魂」になりましたが、学校全体を思い「愛」をもって考えてくれたことがうれしかったです。（多い順に辰中魂、辰中愛、辰中力）看板は、運動会までにソフトボール側バックネットに付きます。書体も色合いも温かみがあり、毎日、登下校に眺めて学校愛を感じてほしいです。

◆今年の夏休みはどんな日々でしたか。1年生にとっては中学校初の夏休み、暑い中の部活動は厳しかったことでしょう。2年生は、自分たちが主体となる部活動が始まり、また、職場体験で社会、世の中の一端に触れる経験もしました。自分の満足いく取り組みができたでしょうか。3年生は、進路実現に向けて自分としっかり向き合うことができたでしょうか。孤独な勉強の時間をしっかりと積み重ねることができたでしょうか。

◆石川県民にとっては、大きな夢を見た夏でした。星稜高校が甲子園で大活躍。石川県に真紅の大優勝旗がやってくるかもしれないと、多くの県民が心躍らせ期待しました。結果は、残念ながら準優勝に終わりましたが、さわやかな笑顔や懸命にプレイする星稜選手の姿は、多くの人に元気、勇気を与えました。

◆ピッチャーの奥川選手とキャプテンでキャッチャーの山瀬選手について、私が心に残ったエピソードを一つ紹介します。奥川選手と山瀬選手は少年野球時代からのバッテリーですが、高校進学は、当初、別々の高校を希望していたそうです。しかし、山瀬選手が星稜高校の体験入学に参加した際、ゴミ一つ落ちていないグラウンド回りを見て、「この環境で、この野球部で野球がしたい」と思い、奥川選手を誘い一緒に進学することになったそうです。

◆この話を新聞で読んだとき、ゴミ一つ落ちていないグラウンドに気付いた山瀬選手をすばらしいなあと思いました。そこに気付くということは、自分もこれまで、それを意識していたということでしょう。また、そのことを進学を決める根拠にしたこともすごいなあと思いました。ゴミ一つ落ちていないというのは、一つの場面であり、基本的なマナーがしっかりしている、どんなに疲れてもグラウンド整備をしっかりやるという厳しさがあるということでしょう。進学を決めたということは、その環境に自分の身を置く覚悟をしたということです。新聞記事の中からですが、山瀬選手の強さ、心の力が感じられ感心させられました。

◆2学期、私が皆さんに頑張してほしいことは、運動会や文化祭といった学校行事、総合的な学習の時間の課題研究、そして何より、「日常」です。1年生は中学生としての力を、心と頭に付ける。「初めてのこと」をしっかり頑張り、真の辰中生になってください。2年生は2年生としての心の成長と1、2年の付けるべき学力、そして、3年生からバトンを受け取れる力をしっかり身に付けてください。3年生の頑張りをしっかり見て、来年の自分たちをイメージする。3年生は、義務教育を終えるのですから、社会に通用する精神力、次のステージに立つための力をしっかり身に付けてほしい。そして、力いっぱいの姿を後輩に残す。そのための合言葉は、「たつのくち」です。2学期も「たつのくち」を大事に、全校で頑張っていきましょう。

日々の写真は、辰口中学校ホームページに載せてありますのでご覧ください。  
[http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~tatsukuj/NC2/htdocs/index.php?page\\_id=0](http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/~tatsukuj/NC2/htdocs/index.php?page_id=0)

辰口中学校

検索